

関ブロニュース

【電話】03-3501-6973

【FAX】03-3500-4391

【Eメール】

uematsu@tk-kokko.org

URL : <http://kb-kokko.org>

国家公務関連労働組合関東ブロック協議会 2017/1/30 15号

各単組・県国公、続々春闘討論集会！

1 / 14 新潟、1 / 18 ・ 21 千葉、1 / 21 東京、1 / 18 ・ 25 埼玉、1 / 24 茨城、

1 / 25 群馬、1 / 26 長野、1 / 27 全医労関係、1 / 29 国土関東建設、2 / 1

山梨、2 / 11 神奈川

組織の拡大・強化の課題も正面に据え

官民一体での17春闘がスタート

←「学ぶ集会」茨城国公

←純増で集会を迎えた！

←新たな峰に挑戦全医労関係

←神奈川はトリ！2 / 11



写真は1月19日の旗開き

各地で熱い論議―国交労関東建設支部討論集会から

「地域の中に自分がいる」

非常勤職員の3年雇止めも勝ち取った



関東ブロック国公事務局長

植松隆行

17春闘にあたって、この間5つの県国公と2つの単組にお邪魔しました。

どの県国公も単組も「アベ暴走政治」と正面から対峙する熱い決意がみなぎっていました。同時に国公労連の提起を受けての組織強化・拡大の課題も熱心に語られていました。

1月29日(日)には、各県国公に役員を多数送り出している国土交通労組関東地協の主力組織・関東建設支部の春闘討論集会に参加しましたので、本紙面から、その内容を報告させ

ていただきます。

「これ(組合加入)に勝る嬉しさを」

方針と論議では5つの感動的特徴がありました。

一つは国公労働者の要求のみならず、建設労働者の賃金、地元建設業界の担い手の確保・育成という深刻な問題も「我が事」として受け止め議論されていたこと。第二には組織拡大強化という点で、純増で春闘討論集会を迎えたこと。この課題では前年度、「封筒作戦」と銘打って、加入用紙と呼びかけ文書、資料をセットにして組織対象者の55・04%の仲間に手渡し

し、加入を呼びかけるという大規模な運動の反映です。10年ぶりで新採加入者を迎えたFさんは「これに勝る嬉しさを」と頬を緩ませて感動を新たにしていました。「減らさず」の課題では組織担当者の素早い対応が実を結んだ報告も語られました。脱退届が届けられたその日にご本人と話し合い、悩みも聞き、生活相談では国公共済会や労金活用による生活補償方策も示し、脱退をくい止めました。

「成果(3年雇い止め廃止)を自分たちのものに」

第三は国交省当局が「かたくなに守ってきた非常勤職員の3年雇い止め」を今年撤回させたことです。この報告を受けてSさんから「この成果を全ての非常勤職員に知らせ、組織拡大につなげ、成果を私たち自身のものにしよう!」との発言には、改めて「国土交通・関東建設支部」らしさを感じました。

野党一点共闘を作った地域での奮闘

四点目は地域での活躍です。地域の活性化やワーキングプアの一扫(最賃や社会保障制度の拡充など)、労働法制の改善などの課題で、地域や県労

連でその牽引者として奮闘されている様子が生き生きと報告されました。「地域の中に自分たちがいること忘れてはならない」の発言がそれを象徴するものでした。

最後は安部政権の暴走の「シンボル」である戦争法に反対・廃止する闘いです。「戦争法」反対の課題では、関東各地での仲間の奮闘は今も続いており、それが市民との連帯やオール野党の共同も作り出しました。

その象徴が山梨です。先の総選挙では「戦争法」反対、立憲主義回復の一点での野党が共同し、自民党を打ち破り、民進党の宮沢由佳氏を当選させました。宮沢氏は、労働団体や市民団体を巡るさいは、民進党を名乗らず、「革新共同」を名乗るとの報告には、感動させられました。

「国公労働者ここにあり!」の国土交通労組関東建設支部の討論集会でした。